



鴨のまち・小郡

kamo no machi ogori

鴨のまちプロジェクト

2022年、市制施行50周年を機に、小郡と結び付きが強い“鴨”を活用し、食文化の継承や新たな特産品開発などを目的に「鴨のまちプロジェクト」をスタートしました。現在、鴨の飛来数や鴨猟師が激減し、天然鴨は非常に希少なものとなっています。「鴨まちコンテスト」では合鴨肉を材料として、各店で趣向を凝らしたメニューの数々を考案しました。



小郡市HP

小郡と鴨



秋の彼岸を過ぎると、鴨は寒さを避け中国の北東部やロシアなどの北国から日本へ渡ってきます。

小郡市の三国地区は、現在の大きな住宅団地が開発される前、雑木林が広がり、その間に多くの沼や沢が散在し、人もあまり住んでいませんでした。また、昔から農業が盛んな小郡では、農業用水として多くのため池を作っていました。ため池は鴨にとって、餌を採食しやすく、休息場所でもありました。こういった静かな環境は、鴨が安心して暮らすのに最適だったようで、多くの鴨が小郡にやってきました。

天然鴨を食す



小郡市の三国地区は江戸時代久留米藩の御猟場があり、“鴨の飛来地”として知られるほど鴨猟が盛んで、地元では冬場の御馳走として食されてきました。

11月15日、今年も鴨猟が解禁されます。

希少な天然鴨の料理を提供する料亭「さとう別荘」では、鴨鍋、鴨ご飯、御狩場焼など、鴨のフルコースを堪能することができます。伝統猟法である「無双網猟」で捕えられた鴨は、味や匂いにクセがなく、その上、野生のコクが醍醐味。毎年、この鴨料理を楽しむために都市部から訪れるファンも多いそうです。

昔から小郡と結び付きが強い“鴨”。令和4年3月に「小郡市の鴨を取り巻く食文化」が文化庁新設の「100年フード」に認定されました。



小郡市商工会 特産品プロジェクト

NEWS!

小郡市商工会の
マスコットキャラクターが
誕生しました。



かもんちゃん
2023年
9月1日生まれ

小郡市商工会では、小郡市とともに「鴨のまち・小郡」を広めていくために、鴨のマスコットキャラクター「かもんちゃん」をモチーフにした商品開発や、鴨肉を使った新メニュー開発など、さまざまな取組を行っています。

かもんちゃんグッズも
展開中!

小郡にきたらお土産にいかが?
詳しくはInstagramをチェック!



ブレンドコーヒー
「かもん散歩」



プリントサブレ



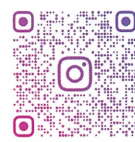
最中「かもなか」

小郡市商工会

〒838-0144 小郡市祇園1丁目6-2小郡センタービル
TEL 0942-72-4121
WEB <https://ogori-shoukoukai.com>

Instagram

OGORISHISHOKOKAI



OGORISHISHOKOKAI